

わたしの天文活動 これから

2022-1-10

京都市 福原浩一

はじめに

この度は、星なかま☆ひめじの 30 周年、おめでとうございます。

わたしは途中からの参加でしたが、峰山高原や播磨の観望地は、京都から行くとすごく光害の少ない見ごたえのある星空で、2 時間くらいのドライブが苦にならないほどです。これからもできるかぎり活動に参加しようと思います。

これまでの振り返り

会の活動以外で、わたし自身の天文活動を少し振り返ってみます。

30 代後半から夏の登山に年数回参加しており、その際、山小屋から深夜に外に出て満点の星空を眺めることが楽しみになりました。高地での漆黒の背景に浮かぶ銀河や星座は、いつまで見ても飽きないので、翌日の山行でいねむりしていたこともあるほどでした。

会の活動に参加するようになり、皆さんがそれぞれに素晴らしい天体写真を撮影しておられたので刺激を受け、登山で星野写真を撮るようになりました。そのため撮影用にフォーサーズの軽量ミラーレスを使っています。景色を含めて広角で空の広い範囲を撮影しています。一発撮りになるので、なかなか作品としての写真が残らず、星なかまの展示会出展では苦労しています。

また、2014 年の GW にはニュージーランド：テカポ、2019 年の GW にはオーストラリア：パースに遠征して南天の星空をしっかりと観望・撮影してきました。いずれも前年の正月新年会で遠征話しが盛り上がり、1 年ほどかけて準備して進め、星空と観光のどちらも楽しい旅となりました。

これからどうしようか

寄る年波と言いつのか、天体の眼視能力が落ちてきて、暗闇に充分眼が慣れても淡い天体が見えにくくなってきています。そして、登山の体力も少しづつ落ちてきているため、これからは日程に余裕がないと日本アルプスの高峰にたどり着くことが困難だろうと思います。（新型コロナもいつ晴れるか不透明です）

登山やハイキングは気分転換の意味もあり、これからも無理せずに続けて行こうと思っています。その際に、山の風景と星の写真撮影は、今後も体力ある限り続けて行こうと思います。

望遠鏡での観望については、以前の記事で紹介されたこともある CMOS カメラによるリアルタイム・ビューに興味があります。まだ適切なカメラを持っていませんが、Deep Sky 用の ZWO の CMOS カメラを手に入れ、これから会の活動などで挑戦しようと思います。他にノート PC や付帯機材も揃える必要があり、どれくらいの投資で済みそうか考え、我が家の財務大臣の顔色をうかがいながらぼちぼち進めます。

遠征について、またぜひ行きたいですね。日程は誰もが参加できそうな GW でしょうか。期間中に新月を迎える年は、早ければ今年の 5 月 1 日(日)です。急なので準備ができませんね。

以降をピックアップすると、2024 年 5 月 8 日(水)、2025 年 4 月 28 日(月)、2027 年 5 月 6 日(木)となりますが、新月が真ん中に来るベストな日程にはなかなかありません。急ぐことはないのも、また、皆さんと相談しながら遠征場所や遠征日程を練って行きたいと思います。

皆さん、どうぞこれからもよろしくお付き合いください。